

5月の予定

- 3日 どんたく西新舞台
- 13日 室町ケミカル社員研修
- 17日 基山草スキー大会
- 18日 ポッチャ大会
- 23日 全国支部事務会議
- 24日 こらぼらQでん田植え

ご協力ありがとうございます

【4月の寄贈者】（敬称略）

RKB毎日放送 和田元一 狩野平左衛門岳也 薦田稔
(株)コイシ 森田章 加治屋若子

【4月の新入会員】（敬称略）

渡辺文 (株)CARRY村本恵梨 友納洋子 狩野平左衛門岳也
(株)つなぐ看護師.com代表取締役溝口喬也
NPO法人福岡シュタイナー学園ホレおばさんの家

2025年5月号

まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**



日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

農場の研修風景

4月も終わり、ようやく春・夏野菜の植え付け作業が終了しました。今年は例年に比べて気温が低く、強風が吹き荒れる日も多く、植え付け作業のタイミングをはかることが難しかったです。

4月初旬には、多くのホームセンターで早くも苗の売り出しが始まっていましたが、早い段階で植付をした人は、苗を枯らしてしまう事が多かったと思われます。

そのような中でも、オイスカの農園では露地で植えた一部のスイカやカボチャが枯れてしまいましたが、殆どの野菜は順調に生育をしています。そして、今年の春の特徴は虫がかなり少なかったということです。恐らく例年にない寒さのせいでしょうが、このような感じでこれから迎える夏の季節も、例年よりもちょっと涼しい夏になってくれると嬉しいですね。(豊田)



体験農園だより

4月12日(土)に「春の酵素づくり」を実施しました。参加者は3組と少なかったですが、それでも長年にわたって継続していただいている方が2組おられます。

春の酵素づくりは約30種類の野草(タケノコ、ヨモギ、スギナなど)を早朝より刈り集めて、その野草を5kg そして 5.5kgの砂糖を使って発酵させます。発酵は約10日間(毎日朝と夕にかく拌)で終了となり、それをろ過するのに2日間かかります。非常に手間のかかる手づくりの酵素ですが、これが効果は抜群で、今回初めて参加してお試して飲まれた方がいるのですが、その方から「酵素を飲んでから気持ちが穏やかになった、おこりっぽくなくなった」とのコメントをいただきました。本当かどうかわかりませんが、お腹に優しい酵素を取り入れることで腹が立たなくなったという面白い事例を紹介させていただきました。(豊田)

公益財団法人オイスカ西日本支部 第28回運営委員会 開催

4月21日、九州電力会議室にて第28回運営委員会を開催しました。委員として、九州電力、福岡銀行、西日本シティ銀行、西部ガスHD、九電工、九州旅客鉄道、西日本鉄道、ふくや、石村萬盛堂の各総務部長の委員の皆様が参加頂き、令和6年度の事業報告並びに収支報告、また令和7年度の事業予定(案)並びに収支予算(案)について審議頂きました。特に、報告事項でアラル海での沙漠緑化報告、そして西日本研修センターが年数経過に伴う設備改修についても報告しました。7月には九州全体での幹事会を予定しております。今後とも多くの皆様に応援頂きますようお願い致します。(廣瀬)



令和7年度オイスカ海外研修生 入所式



4月26日(土)、新緑が美しい晴天の中、入所式が行われ、令和7年度の海外研修生、9カ国1地域の12名を来場者に紹介することができました。当日は、約100名のご来賓、支援者の皆様、役員の皆様、地域の方々に来ていただき、研修生たちを温かく迎えていただきました。

式典では、インドネシア研修生のアユミがスピーチを行い、緊張していましたが、帰国後のことも見据えた抱負を立派に述べる事ができました。懇親会では、和やかな雰囲気の中、毎年恒例のセブセブの儀式(フィジーの歓迎セレモニー)や、バンブーバンドでの歓迎ソングの披露、3カ国のダンスでおもてなしをしました。まだまだ上手になるこれからが楽しみなダンスでしたが、明るく楽しい笑顔あふれる時間になりました。

また、研修生が事前に準備練習していた発表(①自分で選んだ国のおすすめ②国で何をしていたか③日本で何を勉強したいか)も行いました。一生懸命、覚えて完ぺきに言えた人、覚えたのに忘れてしまった人、発表の内容からも、今年も個性豊かな研修生が揃っていることがわかってもらえたのではと思います。個性豊かではありませんが、力をあわせ、研修を頑張ることでしよう。

今後も、皆様のご支援、ご協力 よろしく願いいたします。

(立石考子)



トヨタモビリティパーツ（株）新入社員研修



4月10日(木)、筑紫野市にあるトヨタモビリティパーツ株式会社の新入社員 16 名が来所し、海外研修生との交流を中心とした社員研修会を実施しました。

主な内容としては、研修生からの国の紹介や農業体験、各国の料理づくりなどを行い、楽しく交流を深めることが出来ました。研修生も最初は日本語での会話がうまくいかない者もいましたが、新入社員の皆さんも積極的に会話をさせていただき、お互いに年齢も近いという事からすぐに打ち解けて、帰る際には名残惜しそうにさよならをしていました。(豊田)

中村工業(株)創立 120 年記念寄付金贈呈

4月15日(火)会員企業の中村工業株式会社様より、会社創立 120周年を記念してオイスカ西日本研修センターへ過分のご寄付をいただきました。中村工業様は長年にわたりオイスカ国内外の活動にご支援をいただいております。当日は中村社長様より廣瀬所長へ寄付金を贈呈していただき、海外研修生の研修生活に期待をかけてもらうなど、心温まる激励のお言葉をいただきました。この度の過分のご寄付誠にありがとうございました。(満川)



前列中央 中村会長並びに中村社長

避難訓練

4月7日に、毎年行っている避難訓練を研修生とスタッフで行いました。当日は、いつもお世話になっている寿防災様より、担当の方に来ていただき指導していただきました。はじめに、火災の DVD を視聴し、煙の怖さを学びました。また、現在多くなっている電気関係の火災についても学びました。携帯電話の充電は、日中に行い、就寝時に行わないほうがいいということも教えていただきました。その後、各自、自室に戻り、食堂で火災発生という設定で火災報知機が鳴り、グランドに避難しました。避難後は、即座に点呼を行い、人員確認を行いました。日頃の点呼が活かされます。最後に消火器の使い方も再確認をし、防災への心構えができました。(立石考子)



外国人技能実習生新規配属 [(株) オークマ・(株) 平和送電]

4月11日(金) (株)オークマに スピャンディ君・アルディ君・クスマ君

4月14日(月) (株)平和送電に カリド君・ノルブ君

の5名の技能実習生が新規配属されました。

彼らは2月に入国しオイスカ中部日本研修センター(愛知県豊田市)で2ヵ月間の入国後講習を終えた後、4月に福岡に移動。配属まで西日本研修センターの農業研修生達と寝食を共にし、当センター出発時には「日本のオイスカセンターで時間の大切さを学びました。これから会社に行っても頑張ります」と力強く挨拶をして、実習先に向かいました。実習先の企業様はじめ皆様のサポートをよろしくお願い致します。 **頑張れ！ 実習生！！** (浦上)



(株)オークマ様



(株)平和送電様

OB 紹介 2023 年度モンゴル研修生 ティグシー

モンゴル OB 研修生の挑戦

去年の3月に帰国したモンゴルの OB 研修生ティグシーは、帰国する際にブドウの苗木をセンターから持ち帰り、その苗木を現在の活動地である南ゴビのオイスカ OB 研修生プロジェクトの実施拠点にあるビニルハウスに植え付けました。



ブドウの苗木はすくすくと育ち、1年目には背丈よりも高い位置まで成長することができました。

ブドウの成長を確認するように頻りにティグシーからビデオメッセージが届き、「この枝はどこまで切ればいいですか？」などといった質問が月に1回の頻度できました。

そして、このブドウのプロジェクトが、国連からの支援金を受けられることになり、更に周囲からの期待が高まっている状況になっています。

今年の4月に入ってからも、すでに数回の連絡が入り、今年も同じようにブドウの生育を確認しながら会話をしています。

今年の3月に帰国したツェンゲルもその仲間に加わり、一緒になってブドウの生育を見守っています。



恐らく今年の8月ぐらいにはブドウの果実が試験的に収穫できると思います。

モンゴル人でブドウの栽培に成功した人は数少ないと思いますが、農業まみれの中国産の果実を食べなくて済むように、自分たちの手でブドウの果実を栽培する挑戦はこれからも続きます。(豊田)



2025年 日本語のようす③

7月の JLPT(日本語能力試験)の申し込みをしました。今回は A クラス5名のうち、1名が N4 を挑戦し、4名が N5 を受験します。B クラスからも、1名 N5 に挑戦する研修生がいて、彼に影響を受けて、ほかの3名も N5 を受験することになりました。各自、頑張ることと思いますが、1日農業実習をしてからの、学習はなかなか難しいでしょう。日々、声掛けをしていきたいと思っています。

A クラス 確認の「～でしょう？」を勉強しました。クラスメートに、確認したいことを聞いてみさせたと、「アユミさんは猫が好きでしょう?」「先生は犬夜叉(アニメ)を知っているでしょう?」「マレーシアで一番高い山はキナバル山でしょう?」などなど、とても上手に話せていました。A クラスはまじめで、おとなしめなので、教室でたくさん話すように、工夫していきたいと思っています。



B クラス 動詞の活用を勉強しました。まずは「て形」から。指示の「パスポートを見せてください。」、依頼の「すみません。ちょっと教えてください。」、勧めの「どうぞ見てください。」など。「て形」を作ることは難しく、まだまだ間違えますが、食堂では「どうぞたくさん食べてくださ～い。」と声を掛け合う姿が見られました。教室で学んだことを、すぐ使える場があることは、ありがたいです。地域のみなさま、会員の皆様との交流も貴重な学びの時間です。いつも、ありがとうございます。



まだまだこれから、がんばれ研修生!

(立石考子)